

## コントラクトブリッジ塾



コントラクトブリッジ大会の様子(出島・内外クラブ)



塾長 牛嶋 洋一郎

### ■ 塾長コメント ■

2年目に入った「コントラクトブリッジ塾」ですが、口コミで新しい塾生も少しずつ増え、今では50人近くになりました。しかし、まだまだ競技そのものの認知度は低く、知る人ぞ知るといったところでしょうか。ということで、もう一度コントラクトブリッジについて簡単に説明をしておきます。

このゲームはイギリス発祥で、アメリカで体系化された、世界中にクラブのあるカードゲームです。作家サマセット・モームは、「ブリッジとはこれまでに人間の知力が考え出した、最も面白く最も知的なゲームである」、ビル・ゲイツ(マイクロソフト社創立者)は「ブリッジのように年齢に関係なく一生楽しめる奥深さを持つゲームはめったにない」と言っているように、推理力!!! 決断力!!! 記憶力!!! パートナーシップ! テクニック! など様々な要素を含み、競技として確立されている世界最高峰の「知のゲーム」です。また、大都市圏では主婦やリタイアされた方を中心に愛好者も多く、数千人の方たちが毎日プレイを楽しんでおり、将棋や囲碁などと違い、女性の数の方が多いのも大きな特徴です。さらに、1996年のUNESCO決議に「ブリッジは、さっそうとしたスポーツのように楽しみながら、知力を、そして他者をより知ろうとする気持ちを育てる。それ故に、UNESCOは学

校や若者にブリッジが受け入れられるよう世界ブリッジ連合(WBF)に対してあらゆる支援を行う」とあるように世界の多くの国々で教育的価値が高く評価され、オランダ、フランス、アメリカ、インドネシア、中国ほか、多数の国で正規授業や課外活動として採用され、日本でも「論理的思考」「集中力」「パートナーシップ」等を養えるということで東京大学・明治大学・早稲田大学などで単位の取れる講座として開催されています。

塾生としては「ポアロやホームズを好きな人、彼らのようになりたいと思っている人」がピッタリ。なぜならこのゲームは目の前に平等に示される証拠をもとに推理し(記憶力や論理的思考力が重要)、そして問題を解決(決断力、心理の洞察力、パートナーシップが重要)する競技だからです。(アガサ・クリスティもこのゲームの大ファンでした)



この塾では長崎でこの競技を盛んにすることで次の3つの目標にして活動しました。

### ■ 塾の目的 ■

- ①市民レベルで姉妹友好都市等にあるブリッジクラブを訪問し、交流することで、姉妹都市交流を民間で盛り上げ、市民の国際化に寄与する。
- ②長崎にコントラクトブリッジが定着することで、長崎大会を全国へ呼びかけ開催し、県外からの観光を兼ねての来崎者を増やす。なんといっても「長崎の洋館とトランプ」はイメージぴったりのアピールポイントです!!!
- ③生涯学習の一環として利用することで、市民の充実した日常生活に寄与する。コントラクトブリッジは、大人の「脳力」トレーニング! 年齢に伴う記憶能力の低下を防ぐ訓練に

は、特に知的好奇心を働かせるゲームや趣味を行うことが効果的だと考えられており、コントラクトブリッジの「他とのコミュニケーションをとる社交性」や「誰がどんなカードを出したかを記憶することが大切」というゲーム特性が、記憶の訓練効果をもたらすと考えられています。



### ■ 塾の研究・活動内容 ■

大学で単位が取れるほどの内容で、普通にやるとかなり難しいので、昨年度の講座資料を参考に、よりわかりやすく作り直したテキストを作成しました。講座も昨年は1回2時間・20回でやっていたものを、1回4時間で25回の講座を入門講座として実施しました。(5～9月、11～3月の2回実施)

また、講座を別にビデオ撮りしてDVDを作成し、塾生に貸し出すことで学習をよりやりやすくだけでなく、後期からはYouTubeにアップすることでインターネットが使える環境にある人はいつでも何回でも復習できるようになりました。

また、新規塾生のための中締めの大大会であるミニブリッジ大会と、全国に呼びかけての大大会を各1回実施しました。(詳細は本文に掲載)

### ■ 塾活動の成果 ■

●どうしても競技の性質上、途中でリタイアされる方ができるのは仕方のないことだと思

いますが、今回は講座のDVDやYouTubeで復習できる機会も増えたこともあったのか、中途であきらめる方も少なかったようでした。最後まで学習を続けられた方は、今後も長崎のコントラクトブリッジの中心メンバーとして活躍されると期待しています。

●長崎の洋館(出島内の旧長崎内外クラブ)でのコントラクトブリッジ大会の開催を昨年と同様、全国のクラブに呼びかけて実施したところ、東京・千葉・山口・福岡から観光を兼ねて大会に参加してもらえ、長崎でこの時期に大会があることを多くの方に認知していただいたと思います。

●2015年は長崎-セントポール姉妹都市提携60周年であったので、セントポール市にあるブリッジクラブと連絡を取り、ブリッジ交流のため塾生10人が田上市長ら公式訪問団とともに、スヌーピーのふるさとセントポール市を訪問しました。(8/20～8/26)



「Twin City Bridge Center」と「Bridge Center of St.Paul」の2か所で交流試合を行いました。両所とも大歓迎をしていただき、素晴らしい訪問となりました。(詳しい報告書は後述)

## コントラクトブリッジ塾 活動記録

日 時	場 所	内 容
平成 27 年		
5 月 13 日(水)	勤労福祉会館	長崎伝習所「塾」開所式、第 1 回 塾会議
5 月 19・26 日(火) 13:00-17:00	交通会館ビル いきいき広場	新規塾生が 17 名あり、講座資料を作り直しながら、半年 25 回の予定で講座を設けた。また講座毎に DVD を作成し、途中参加や欠席が余儀ない塾生が継続しやすいように工夫した。また火・土で同じ内容を実施した。
5 月 16・23 日(土) 13:00-17:00	市民会館・中央公民館 会議室・研修室	
6 月 2・9・16・23・30 日 (火) 13:00-17:00	交通会館ビル いきいき広場	「エスタブリッシュ」「フィネス①」「フィネス②」「フィネス③」を実施。昨年からの継続の塾生も一部の塾生と一緒に、その他の塾生は別テーブルで練習を重ねた。
6 月 6・13・27 日(土) 13:00-17:00	市民会館・中央公民館 会議室・研修室	
7 月 7・14・21・28 日 (火) 13:00-17:00	交通会館ビル いきいき広場	「サードハンドのプレイ」「セカンドハンドのプレイ」「トランプ#1」「トランプ#2」を実施。各講座の DVD も毎回ほとんど全部貸し出しとなり、かなり苦しんでいる塾生もいるが、学習意欲は高い。ミニブリッジは 7 月で終了。
7 月 4・18・25 日(土) 13:00-17:00	市民会館・中央公民館 会議室・研修室	
8 月 1 日(土) 13:00-17:00	中央公民館研修室	講座前半の総復習・試合方法の学習を兼ねて、ミニブリッジ大会を開催した。
8 月 4・11・18 日(火) 13:00-17:00	交通会館ビル いきいき広場	オークション編の講座を実施。 「メジャーオープン」「メジャーオープンのレスポンス」「メジャーオープンのリビッド」 「強いハンドとアンバランスハンドの示し方」
8 月 8 日(土) 13:00-17:00	中央公民館研修室	
8 月 20 日(木)～ 8 月 25 日(火) 5 泊 6 日	セントポール市訪問	長崎ーセントポール姉妹都市提携 60 周年で田上市長ら公式訪問団とともに訪問。記念行事に参加し、現地のブリッジプレイヤーと交流を行った。(別紙報告書あり)参加者が少ないのではないかと心配していたが、10 人の参加があり、ブリッジ交流も公式行事も大いに盛り上げることになり大成功であった。
9 月 1・8・15・22・29 日 (火) 13:00-17:00	市民会館・中央公民館 会議室・研修室	オークション編の講座を実施。 「マイナーオープン」「マイナーオープンのレスポンス」「マイナーオープンのリビッド」「1NT オープン」「1NT のレスポンス+ステイマン」 「ラフティングバリューとレンジポイント」
9 月 5・12・19・26 日 (土) 13:00-17:00	交通会館ビル いきいき広場	

日 時	場 所	内 容
9月13日(日) 10:00-17:00	旧長崎内外クラブ (出島)	「長崎居留地まつりブリッジ大会 in 出島」をJCBL(日本コントラクトブリッジ連盟)の公式戦として全国に呼びかけ開催した。東京・千葉・福岡からの参加者を迎えることができ長崎ならではの会場で喜んでいただけたようである(別紙報告書あり)
10月6・13・20・27日 (火) 13:00-17:00	交通会館ビル いきいき広場	オークション編の講座を実施 「オーバーコール」「ダブル」「強いダブルと競り合いのピッド」「ウイーク2」「2NTオープン」「ストロング2」を実施。これで入門コースのオークションは終了したが、11月から新規塾生が入ったので、入門講座をもう一度初めから実施した。5月からの塾生は、2回目の講座を受講するものと練習プレイをするものに分かれた。前半同様に毎週火曜日・土曜日の2回実施した。
10月3・10・17・24・31日 (土) 13:00-17:00	市民会館・中央公民館 会議室・研修室	
11月3・10・17・24日 (火) 13:00-17:00	交通会館ビル いきいき広場	
11月7・14・21・28日 (土) 13:00-17:00	市民会館・中央公民館 会議室・研修室	
12月1・8・15・22日 (火) 13:00-17:00	交通会館ビル いきいき広場	
12月5・12・19・26日 (土) 13:00-17:00	市民会館・中央公民館 会議室・研修室	
<b>平成 28 年</b>		
1月5・12・19・26日 (火) 13:00-17:00	交通会館ビル いきいき広場	オークション編の講座を実施 「メジャーオープン」「レスポンス」「オープナーのリビッド」「レスポonderのリビッド」
1月9・16・23・30日 (土) 13:00-17:00	市民会館・中央公民館 会議室	
2月2・9・23日(火) 13:00-17:00	交通会館ビル いきいき広場	オークション編「マイナーオープン」「1NTオープン」「オーバーコール」「ダブル」を実施。
2月6・13・27日(土) 17(火) 13:00-17:00	中央公民館研修室	
3月1・8・15・22・29日 (火) 13:00-17:00	交通会館ビル いきいき広場	オークション編「ウイーク2」「2NTオープン」「ストロング2」「プリエンプティブオープン」を実施。
3月12・26日(土) 13:00-17:00	中央公民館研修室	
3月21日(月・休)	ベルナード観光通り	長崎伝習所まつり パネルの展示、体験ブースを設けた

何度かいつもの場所の確保ができず変更した時もありますが、紙面の都合上割愛しました。

●講座の開催状況について

昨年同様、新規塾生に対してミニブリッジから始まり、プレイ編、オークション編と続く入門講座を25回かけて行いました。(ミニブリッジとはオランダで開発された初めて体験する人たちがすぐに楽しめるように簡略化した手法です)

# Mini Bridge 大会

## - 報告書 -

開催日:8月1日(土)13:00 - 17:00

場 所:市民会館第6研修室

参加者:24名

- コントラクトブリッジはオークション部分とプレイ部分からなる競技で、ミニブリッジはプレイ部分だけ先に学ぶためのもの。  
5月~7月でミニブリッジの学習が終わったので、これまでのまとめと試合形式の練習を兼ねてこの大会を開催した。



- 普段はワイワイガヤガヤとおしゃべりしながらやっている塾生たちも、この日は真剣に黙々とプレイしていました。



Paper Napkin

- 賞品もちょっとだけ用意しました。



Giftwrap



- 昨年度の反省を踏まえて、今年度は講座のテーマ毎に、DVDを作成し、貸出しをすることで、家での学習をし易くした。

大学の講座として開催されている内容だけに1回の講義だけでは理解が難しいようなので、効果的に活用されているようである。



N-Sペア優勝 →  
原澤・坂本ペア

← N-Sペア優勝  
上野・村田ペア



\*優勝は共に昨年からの塾生で、1年の違いは大きかったようです。

例会として「毎週火曜日と土曜日の午後」同じ内容で講座を実施し、塾生の都合で受講できるように工夫しましたが、それでも入門講座で5か月ほどかかります。

5月から7月の前半のミニブリッジが終了した時点で、復習と試合形式の勉強を兼ねてミニブリッジ大会を開催しました。(前頁に報告書)

8月からはオークション編に突入、いろいろなやり方がありますが、この塾ではアメリカスタンダードの「5メジャーシステム」と呼ばれるコンベンションを学習しました。

また、今年から講座を別撮してDVDを作成し、貸し出しを行うようにしました。これですいぶん学習がやりやすくなり、昨年よりも、ついてこられない塾生が少なくなったように思います。

後半からはこの講座をYouTubeにアップすることに成功したので、インターネットを利用できる環境にある方は、いつでも何回でも自由に講座を見直すことができるようになりました。

その結果、講座の理解度が格段に上がったばかりでなく、県外の方から「良い入門講座を自由に見ることができ、ありがとうございました」との感謝のメールまでいただきました。

#### ●セントポール市への訪問

今年は長崎-セントポール姉妹都市60周年ということで、セントポール市にあるブリッジクラブと事前に連絡をとり、ブリッジでの市民レベルの交流を計画しました。塾生に参加を呼び掛けたところ、10人の希望者が集まったので、先方のミネソタブリッジクラブのAnnさんと相談し、全員が地元のプレイヤーとペアを組むことにしました。(英語ができなくてもプレイは世界共通です)もちろん費用は全額自己負担です。

また、田上市長を団長とする公式訪問団や長崎-セントポール姉妹都市委員会と、訪問日程を合わせて、公式セレモニーや記念行事にも一緒に参加するようにして、記念訪問を盛り上げました。(というより、姉妹都市委員会や公式訪問団には、いろいろとご協力をいただきました)

# 長崎-セントポール姉妹都市60周年記念!!!

- St.Paul Bridge Club & Minnesota Bridge Club との交流 報告書 -

Twin City Bridge Center 2015.8.22. (土)

- セントポール市はミネソタ州の州都でお隣のミネアポリス市と合わせてツインシティと呼ばれています。最初の交流相手は、このツインシティブリッジセンター (TCBC) を中心に活動しているミネソタ州最大のブリッジクラブである「Minnesota Bridge Club」(以下 MBC) です。長崎から10名が参加。 10:00-17:00



牛嶋・Betty ペア



坂井・Jean ペア



木戸・Mitzi ペア



上・Rebecca ペア



伊丹・Steve ペア



松尾・Jim ペア

- 全員がMBCのプレイヤーとペアを組み、「Chat Bridge」に参加、(過去にプレイされたハンドを組み込んだもので、聞きたいことを聞きながらプレイする勉強会みたいなもの) 昼食後は同じペアでStratified Open に参加。中には全米選手権にでるようなすごい方もいらっしゃいましたが、皆さん笑顔で歓迎してくださいました。

- Ann さん(写真左→)は日本生まれで、元ノースウエスト航空のCA、日本語もペラペラの超人!!! 今回は30回以上のメールのやり取りをして MBC だけでなく、Bridge Center of St.Paul での交流も橋渡しもしてくださいました。しかもご厚意で参加費・昼食代はすべてMBCのおこり!!!



山本・Ann ペア



渡辺・? ペア



- こちらは TCBC の責任者で、ACBL 公認のインストラクターでもある Teri さん。(Chatt Bridge の講師) 私たちのコンベンションカードを使って、ビッドの違いについて、講座の中で話されていました。持参した日本からの土産も記念にお渡ししました。



- TCBC は住宅街にある1軒屋、広々とした空間で1階には30テーブルほど、地下にも10数テーブルあって、この日は100名程の参加者で賑わっていました。はじめはおっかなびっくりだった長崎のメンバーもウェルカムの気持ちで迎えていただいたので一日楽しくプレイを楽しむことができました。(長崎からの参加者はブリッジ暦1年の初級者~?年の中級者まで。つまり上級者でなくてもこんな楽しいブリッジ交流ができるのが、このゲームの素晴らしいところです。) またペアを作るためにコンベンションカードを事前に送るよう要望されたので、改めてこのカードの重要性を知る良い機会となりました。



←  
ペアの写真を撮り忘れてしまった2組。すいませんでした。



●セントポール姉妹都市委員会 (SPNSCC) による歓迎夕食会

8/20(木)

SPNSCC の会長の JoAnn さん(写真左→)とは渡米前に何度もEメールのやり取りをして、地元ブリッジクラブとの橋渡しやセントポール内での移動手手段等、全面的にお世話になりました。Linda さん(写真右→)はセントポール三世・四世会の方で、他のメンバーと一緒に空港に出迎えに来てくれました。



●ピースパイプセレモニー

セントポール市役所訪問 8/21(金)

ネイティブ・アメリカン (ダコタ族) の平和友好を結ぶための神聖な儀式であるセレモニーは、両市の市長を含む7名が参加し厳粛雰囲気でおこなわれた。 ↓↓↓



セントポール市長の執務室を拝見。

←一番右は長崎東高に交換留学で来ていた Natasha さん。今回東高卒業者が4人もいたのので、滞在中は「先輩」と呼ばれていました。



●この日の夕食もご招待。会場には NBA・MLB のプロ選手が来場し、田上市長にユニフォームがプレゼントされました。



●地元のマイナーリーグのチーム「Saints」の試合にご招待していただきました。

8/22(土) 18:00 ~

●長崎市長・市議会議員が始球式に登場!!! 途中から雷雨となり中断????!! それでもアメリカならではの野球場の雰囲気を楽しむことができました。



●球場にある特大スクリーンには、諏訪神社や眼鏡橋などの長崎の観光地が映し出され、姉妹都市60周年記念で長崎から訪問団がきていることも知らせてくれました。



※とにかく、SPNSCC の方々のいたれりつくせりの気を配った歓迎には、ただ感謝のひとつでした。



●市の名前の由来となった St.Paul 大聖堂。日曜ミサにも参列してきました。



●スヌービーの作者 チャールズ・M・シュルツの故郷のこの町には各所にスヌービーたちの銅像?が。田上市長も一緒に記念撮影。↑



←ミネアポリスのバス停で声をかけてくれた女の子、偶然にも同じバス停で降りるということで、TCBCの玄関まで連れて行ってくれました。現地の



人との偶然のふれあいも旅の楽しみの一つです。



●移動は10人乗りのシャトルバスをチャーター、約100\$で便利でした。また時間に余裕がある時は路線バスやライトレールも利用しました。



●ミシシッピ・リバークルーズも体験できました。↑



●コモ公園ランタン・ライティング・フェスティバル  
- 日本まつり- 8/23(日) 16:00 ~



←女性陣は浴衣を着てお祭りの盛り上げに役買いました。後ろに見えるのはコモ公園の植物園。



会場は溢れんばかりの人でビックリ!!! 盆踊りではまった ↑ く動けず、その場で踊るしかありませんでした。また、和太鼓の演奏が一番人気が高かったようです。



← 会場の各所で、弓道・合気道・剣道等々のエキシビションや体験コーナーが設置されていたり、金魚すくいや風船釣りもあって日本の縁日の雰囲気が出ていました。



最後は日本庭園で燈籠流し→

# Bridge Center of St. Paul 2015.8.24. (月)



● ↑ 歓迎の手作りケーキ

姉妹都市交流ならではの特別なものをわざわざ用意してくれていて、感激!!!

● ↓ 全員の特製ネームプレート



● 2つ目の交流場所はセントポール市にある Bridge Center of St. Paul。こちらもTCBCと同じく住宅街の1軒屋で大きさもTCBCとほぼ同じくらいでした。



● ここでディレクターを務められている ← Kim さん。ここでの交流のアレンジをすべてしてくださいました。初日のTCBCでの交流の時も来ていたっていました。



● 昼食はbuffet形式で、みんな一列にならんで好きなものを選んでいただきました。ここでも参加費・昼食代はMBCのおごり!!!



● ここでも全員が地元プレイヤーとペアを組ませていただきました。



Sandy・牛嶋ペア



坂井・Karen ペア



木戸・Joseph ペア



Williams・松尾ペア



坂井・Peter ペア



渡辺・Joe ペア



山本・Brian ペア



Margaret・上ペア



伊丹・DeeDee ペア



?・山本ペア???



● この日はStratified open/△ 199 に分かれて参加。Openは14テーブル、△ 199は5テーブルで、平日の昼間にもかかわらず合計78名の参加者がありました。それだけの人数がワンフロアで悠々とプレイできる場所でうらやましいかぎりでした。ここでも、みなさんフレンドリーに接して下さり素晴らしい交流が出来たと思います。

● ここではNSで牛嶋・Sandy ペアが1位、坂井・Karen ペアが3位という好成績をあげることができました!!!



Section A North-South  
Club Championship Monday Noon Session August 24, 2015  
Leaders after 12 rounds Average: 132.0

Place	A	B	C	Pct	Score	Pair
1	1			67.88	166.00	A-8 Sandra Casey - Yoichiro Ushijima
2				59.78	157.81	A-13 Pat Weber - Kathy Crockett
3	2			59.82	147.37	A-11 Karen Potoraon - Michiko Sakai

# Bridge Center of St Paul News

August / September 2015 -- Vol. 13, Issues 8-9

- 「Bridge Center of St.Paul」の機関紙上でも、私たちの訪問を紹介していただいています。(帰国後 KIM さんが送ってくださいました。関連記事を抜粋)

## NAGASAKI-ST PAUL SISTER CITY CELEBRATION

ありがう  
Arigato \* Thank You

On August 24 we had a much anticipated visit from some of the Japanese delegates from the St. Paul - Nagasaki Sister City celebration which occurred over much of the week prior. Of the approximately 60 to come from Japan, 9 were Bridge players and contacted us to come join us for a game. Each and every player paired with one of our members to play for the day. We were so please to welcome them and share a luncheon potluck. Their main request was to sample regular American food. We had Dee Dee to her yummy grilled hot dogs, and many others brought typical summer foods, even a wild rice hot dish which interested a few of our visitors. Our gracious Unit 103 supplied a lovely cake and paid for their entry fees. A great time was had by all. Our visitors were: Yoichiro Ushijima (their leader), Hideyuki & Machiko Sakai, Shingo Yamato, Sumiko Kido, Michiko Itami, Akemi Mastuo, Etsuko Watanabe, Sumie Kami, and their photographer Midori Yamamoto. We hope to see you again someday!



意識：8月24日にセントポール-長崎姉妹都市のお祝いのため、長崎のブリッジプレイヤーがこのクラブを訪問されました。それぞれ日米のプレイヤーでペアをつかってプレイ、昼食もポットラック形式でおもてなし、ともに楽しい時間を共有することが出来ました。

## Nagasaki Sister City Bridge Visitors

作成: Bridge Center of Saint Paul · 8月24日 · © · Bridge Center of Saint Paulで撮影

- フェイスブックでも多くの写真をアップしていただいています。



August 21, 2015

## Nagasaki Visitors!



Welcome to our bridge playing friends from Nagasaki, Japan!

As part of the Sister City Program, a delegation from Nagasaki, Japan, will be in St. Paul for a week. Nine of the visitors are bridge players and are excited to play with Americans at our local clubs.

We encourage you to come to one of the following games to interact with our visitors and give them a warm Minnesota Bridge welcome.

Here is the schedule for bridge in Minneapolis and St. Paul:

Saturday, Aug 22: Chat bridge at 10 and Open Pairs at 1:00 at the Twin City Bridge Center

Monday, Aug 24: Open Pairs at 10 am at The Bridge Center of St. Paul and Open Pairs at 7:00 pm at the Twin City Bridge Center



## ●Minnesota Bridge Club

のホームページより。

←

私たちの訪問前に掲載された、クラブメンバーに対する事前告知。

—ようこそ! 長崎の  
ブリッジプレイヤー—  
(意識)

姉妹都市交流で長崎から訪問団がセントポールにきます。その中には9人のブリッジプレイヤーがいて、地元のプレイヤーとのプレイを楽しみにしています。

下記の日程で来るので、出来るだけ参加して、ミネソタブリッジクラブの暖かい歓迎の気持ちを伝えましょう。

- Minnesota Bridge Club が主な活動場所として使っているのが私たちが訪問した「Twin City Bridge Center」です。

帰国後、ホームページには私たちが訪問した時の多くの写真がアップされていました。(コメントがついていた写真を抜粋)

→

(訳) 今週末、極東からのお客さんがツインシティブリッジセンターで楽しみました。ミネソタのプレイヤーと長崎からきたプレイヤーがペアをつくっての形式で、いかにこのゲームがワールドワイドなものであるかを示したのではないかと思います。

→

(訳) もし今回の日本からのプレイヤーとミネアポリスで会えなかった人は、今日の「Bridge Center of St. Paul」でのゲームに参加されてはいかがでしょう?

## Honored Guests



The Twin Cities Bridge Center enjoyed visitors from the Far East this weekend. Players from Nagasaki mingled with Minnesotans on Saturday, demonstrating that our game lies competitors from around the world.



If you missed seeing our Japanese counterparts in Minneapolis, then consider attending today's game at the Bridge Center of St. Paul. Our visitors will be competing at their club today.

# 長崎居留地まつりブリッジ大会in出島

## 報告書

開催日：2015年9月13日(日)10:00～17:00

アピールポイント(他都市には見られない長崎ならではの特徴)

- ①史跡「出島」内にある歴史的洋館でプレイできる
- ②県外参加者&初級者を優遇する大会!!!。

●STF(△300,△100, △10)

◆表彰(各クラス):優勝ペアには優勝グラス(JCBL特製)。

優勝グラスを手に微笑む成績の良かった方々



△ 300 伊丹・平野ペア



△ 100 上垣・橋爪ペア



△ 10 渡辺・佐藤ペア

参加者総数	35名
千葉県	1名
東京都	1名
福岡県	10名
長崎県	23名

ホテルが取りにくい状況があったようで、残念ながら昨年より県外参加者が減ってしまいました。しかし大会の知名度は上がっているようですし、長崎の地元参加者は塾活動の成果で確実に増えていますので、来年の大会はもう一工夫し、50名以上の大会を目指したいと思います。



←  
賞品のほとんどは既製品ではなく、トランプ柄の布地や長崎居留地バッグを活用して手作りされたもので、他では手に入らないものばかり。こんな賞品を用意するのは、日本ではこの大会だけ(maybe)です。



●賞品はすべてひもを引っ張ってのくじ引き!!! しかも県外参加者は、豪華賞品が当たるくじをもう一回ひけるwチャンス!!!。よそでもそんな大会やってほしい!!!



●会場は明治に建てられた洋館のため、天井が高く広々とした空間で、心地よくプレイができました。



主催:長崎チェス&ブリッジクラブ

共催:長崎伝習所コントラクトブリッジ塾

協力:JCBL・長崎コントラクトブリッジ研究会・長崎居留地まつり実行委員会



長崎伝習所「コントラクトブリッジ塾」は、昨年に引き続き牛嶋塾長をはじめ多くのボランティアの方々の支えもあり、徐々に愛好者を増やしています。仕事をリタイアして歴史関係の塾にいましたが、子どもの頃から足にハンディがある私には現地調査は荷の重いものでした。しかし、「コントラクトブリッジ」の塾の募集があるのを知り、これならば椅子に座ってできると思い、内容も知らず参加しました。

始めは4人で東西南北と座わらされ、麻雀みたいなものかな？と思ったらディーラーがカードを配りゲーム開始…ポーカーみたいなものかな？…と思ったら東西、南北と互いにペアを組んでのゲームだということで、全く新しい世界に引きずり込まれました。

歴史を調べると、最初にイギリスの貴族が始めた頃のホイストは4人でゲームしていましたが、アメリカに渡ると親を決めるオークション制度が取り入れられ、親を勝ち取ったペアとデフェンス側のペアのどちらが先にゴールに着くかの競争ゲームであることが分かりました。オークションとそれに続くゲームと毎回2度楽しめる変化に富んだもので推理力、記憶力が試されるのがコントラクトブリッジです。トランプとはこのゲームの切り札のことです。

さて、テーブルにつくとまずカードの枚数を確認し、オークションを始めるのですが、専用のカードを使い無言で行うのがマナーです。最初のうちは“あ…”とか“しまった”とか言うては注意されました。パートナーと組んでのゲームなので、厳格なマナーが要求されます。ゲームは真剣に戦いますが、終わればイギリス発祥のラグビーと同じでノーサイドとなりお互いを認め合い次回も楽しく会えることができます。

最近コントラクトブリッジの概要がやっとわかり、塾のほか同好会にも参加して楽しんでいます。メンバーは女性が圧倒的に多く最初は戸惑いましたがやっと少し慣れてきました。コントラクトブリッジは記憶力、計算力、推理力に加え即断力が必要で、経験豊富なメンバーの皆さんと対等にゲームできるのはまだ遠い先ようです。

幸いにも牛嶋塾長の講義は大きな声でわかりやすく、ゲームの途中で行き詰まった時など頭の中でその大きな声が響くような気分になるときがあります。そのときは大体うまくいきます。これからもチャンスを見つけて、チャレンジを続け、少しでもレベルアップしてゲームを楽しめるようになろうと思っている今日この頃です。

現在長崎では、100人ぐらいがいくつかの同好会に属し、毎日どこかでプレイされているようです。また、全国的にみると全日本コントラクトブリッジ連盟に属したプレイヤーが色々な所で交流してゲームを楽しんでいて、さらに50程度のオークションの言葉を理解できるようになると世界中の仲間とも友達になれるチャンスがあることに気づき、一挙に仲間が増えたような気分になっています。最初は無鉄砲に入りましたが、これからも生涯続けられる良いチャンスを与えてくださった牛嶋塾長に感謝いたします。



「ブリッジに向いていると思う。やってみたら、絶対、ハマると思うよ！」と、ブリッジ歴 30 年超の大先輩から誘われ、「コントラクトブリッジ塾」の塾生となったのは、昨年 5 月のこと。学生時代によくやっていた「大貧民」の延長線上にあるトランプゲームだと思っていたら、大間違いでした。複雑なルールが山ほどあり、記憶力と推理力がモノを言う「高度な知的ゲーム」で、早稲田大学では単位が取得できる科目としてコントラクトブリッジの講座があるとか。というわけで、単なる「お遊び」ではなく、まさに「お勉強」の日々でした。

昨年までは土曜日だけ塾に参加していましたが、足し算・引き算が苦手なうえ、海馬の容量が足りないのか、ひとつ覚えると、ひとつ忘れる…といった状態が続いていましたが、1 月に、まだビッドの仕方もよく分かっていないのに「ひよこカップ」(初心者にとっては、デビュー戦!)に出ることが決まってからは、「パートナーの足を引っ張ったら大変！」というわけで、ようやく、お尻に火が付き、真面目に勉強するようになりました。

塾長が「YouTube」にアップしてくださった「コントラクトブリッジ入門講座」で再度、復習し、日本コントラクトブリッジ連盟の公式ホームページにある「Just Play Bridge」で、ロボット相手にゲームに勤しみ、大会直前には、月・火・木・土と、ブリッジの集まりに参加。

ベテランの先輩方に交じっての実戦練習では、私がまごまごしていると、「短いほうのハイカードからよ」「そこで迷うと、エースを持っているのがバレるよ」と、敵味方関係なく、アドバイスをいただき、後ろを振り返れば、塾長や大先輩が「背後霊」のように控えていて、分からないことがあるたびに、丁寧に説明してくださり、その場で疑問を解消することができました。

分からなかったことが少しずつ分かってくると、面白くなってくるもので、ブリッジの奥深さにすっかりハマっている今日この頃ですが、私のような県外からの転入者にとっては、塾を通じて、人の輪が広がり、和気あいあいとした雰囲気の中で、年齢に関係なく、色々な方々とコミュニケーションがとれるのも、楽しみのひとつでした。

10 年後、65 歳以上の 5 人に 1 人が認知症になると言われていますが、カードゲームは認知症予防にも効果があるそうなので、塾が終了しても、脳トレを兼ねて、楽しみながらブリッジを続けていきたいと思っています。

まだまだ学ぶべきことがたくさんありますが、今後とも、よろしく願いいたします。そして、最後になりましたが、お世話になった塾長、先輩方、同期の皆様方、有意義な時間をありがとうございました。

●次年度から毎週土曜日 13:00~17:00 に東山手「地球館」で例会を開催することにしていきますので、興味のある方は [chikyukan@phe.bbiq.jp](mailto:chikyukan@phe.bbiq.jp) (牛嶋)にご連絡ください。

## コントラクトブリッジ塾

塾長	牛嶋 洋一郎				
1	池田 毅	21	大野 幸子	41	三田村 和英
2	平井 宜男	22	大場 勝彦	42	三田村 礼子
3	轟木 幸子	23	奥川 清美	43	村田 久美子
4	幸村 晟二郎	24	上 住江	44	山本 眞悟
5	青木 久子	25	北村 喬	45	吉田 諫子
6	松本 奈美	26	草野 久子	46	渡辺 悦子
7	梶山 定子	27	久保田 正	47	木戸 澄子
8	山下 克子	28	坂井 眞知子	48	
9	木村 規子	29	坂本 富士子	49	
10	横田 正勝	30	佐藤 久美子	50	
11	西野 和子	31	高谷 一義	51	
12	池田 雅博	32	高梨 眞理子	52	
13	森岡 隆志	33	田尻 由美子	53	
14	船津 忠次	34	成清 正	54	
15	高比良 智子	35	原澤 隆一	55	
16	青木 鞆音	36	久松 宏子	56	
17	上野 善幸	37	松浦 伊砂子	57	
18	新井 弘子	38	松本 新子	58	
19	伊丹 美千子	39	松山 恭代	59	
20	今西 真弓	40	三島 和子	事務局員	国際課 田中 健

